



日本維新的会の藤田文武共同代表側に公金が還流した疑惑があると一部メディアが報じたことを受け、藤田氏は4日の定例会見で、今後は公設秘書が代表を務める会社へ公設秘書が代表を務めることを示した。

日本維新的会の藤田文武共同代表側に公金が還流した疑惑があると一部メディアが報じたことを受け、藤田氏は4日の定例会見で、今後は公設秘書が代表を務める会社へ公設秘書が代表を務めることを示した。

秘書会社への発注中止

ピラ印刷めぐり「公金還流」報道

維新・藤田氏

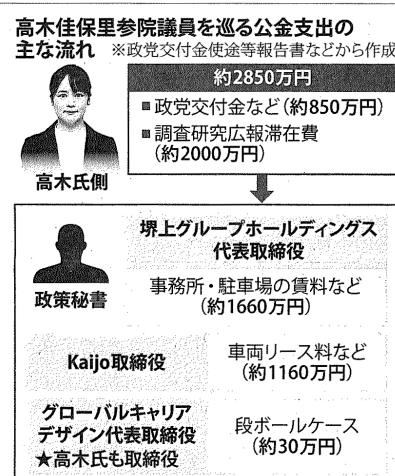
で、政治活動に関する配布物は公職選挙法や政策内容などの専門知識が必要だとし、「信頼できる公金還流との指摘を受けた可能性を考えなかつたか問われると、「そう」と回答した。

公金還流との指摘を受ける可能性を考えなかつたか問われると、「そう」と回答した。

感じていたらやめていた」とした上で、政治資本規正法にのっとり公開している点を強調した。一連の報道後、維新的創設者の一人で元大阪府知事の橋下徹氏はX(旧ツイッター)で、「たとえ実費だけだとしても外形的公正性からアウト。こんなことを許せば国会議員たちは公金を私服に入れることが容易になる」(原ママ)などと批判していた。(福島雄策)

高木氏、秘書関連3社に公金

維新総務会長 2016年以降 2850万円

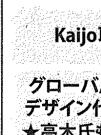


2025年11月12日付毎日新聞朝刊

日本維新的会総務会長の高木佳保里参院議員(53)は、大阪選舉区、二期が初当選した2016年以降、政秘書が代表などを務める会社へ公金支出しを認めた。うち1社は高木氏が取締役を務めている。毎日新聞の取材で20日、明らかになつた。秘书が代表の会社は、藤田文武共同代表に続き2人目。吉村洋文代表は党内規の見直しを表明している。

3社は、不動産会社「堺上グループホールディングス(GHD)」「不動産やリースを扱う「Kaijo」「グローバルキャリアデザイン(いずれも堺市)」。政策秘書は3社の代表取締役や取締役を務め、高木氏は

高木佳保里参院議員主な流れ



※政党交付金使途等報告書などから作成

約2850万円

■政党交付金など(約850万円)

■調査研究広報滞在費(約2000万円)

毎日新聞は高木氏について、政党交付金使途等報告書と維新が公開している調査研究広報滞在費(旧文書)を通じて確認した。

それによると、高木氏は

16年8月~25年7月、自身

はグローバル社の取締役を務めている。

毎日新聞は高木氏について、政党交付金使途等報告書と維新が公開している調

査研究広報滞在費(旧文書)を通じて確認した。

そのように、高木氏は

税金が原資となつていて

いる。

3社は、不動産会社「堺

上グループホールディングス(GHD)」「不動産や

リースを扱う「Kaijo」

▽「グローバルキャリアデ

ザイン(いずれも堺市)」。

政策秘書は3社の代表取締

役や取締役を務め、高木氏

は、不動産会社「堺

上グループホールディングス(GHD)」「不動産や

政治資金でスナック代

（賀県彦根市）が2023～24年、東京・赤坂のスナックに「打ち合わせ飲食代」として計31万4300円を政治資金から支出していたことが、今月公開の政治資金収支報告書で分かった。地元・滋賀出身の女性演歌歌手のファンクラブ会費として計2万8600円も支出していた。



上野賢一郎厚勞省

政治資金規正法は政治資金の仕組みが問題で、信の取材に「情報交換、意見交換に係る経費で、政治目的に従つた適正な支出だ」と書面で回答した。政治資金規正法は政治資金の支出はこれまでも問題視されてきた。政権

24年の衆院選期間中に東京都内の政治団体から受け取った推薦料50万円を收支報告書に記載せず、訂正の意向を示している。

8200円、ファンクラブに行事費として1万760円を支出した。

「收支報告書によると「うえの賢一郎・政経フオーラム」は24年、赤坂のスナックに会議費として6万8200円、ファンクラブに行事費として1万760円を支出した。

23年も同様に、スナックに3件計24万6100円、ファンクラブに1万1千円をそれぞれ支払っていた。

の要職を担う立場として丁寧な説明が求められそうだ。

2025年11月30日付 東京新聞 朝刊

(パネル) 出典：2025年11月30日付 東京新聞 朝刊、2025年12月8日付 毎日新聞 朝刊

政治資金でキヤバクラ

維新・奥下氏側「交際費」で9万円

奥下剛光氏

日本維新の会の奥下剛光衆院議員（大阪7区、当選2回）の資金管理団体が2

ウンジに計9万3500円を政治資金から支出していることが6日、政治資金収支報告書で判明した。事務所は、いずれも奥下氏本人が企業関係者と共に訪れたことが下氏側の費用を負担した

民間感覚とズレ

と説明。税制上の優遇措置を受ける政治団体が、女性の接待を伴う店へ政治資金を支出したことに対する批判が集まりそうだ。

「新の会議員正直」がスナックに政治資金を支出していたとの報道に対し、藤田文武共同代表は3日の記者会見で、「女性の接待を受けたクラブは不適切だが、さ

万63000円、大阪市のラ
ウンジに5万7200円を
いすれも「交際費」名目で
支出。同10月には東京・大

2025年12月8日付毎日新聞朝刊

日本維新の会創設者の橋下徹元大阪市長は「飲み会でいい政治を止める」と言ってきたが、議員たちはその理屈から乖離かいりしていくのではないか。身を切るのではなく、改革が空乏化している。維新は政権を担う与党として、奥下剛光衆院議員に責任を取らせるべきだ。

林總務相陣営「労務費」支払先

「労務せず報酬もない」証言

昨日新聞の青島公爵議員が起訴される、(原題)「木氏の街頭演説を聞いて記載された人に取材し、もらったことはない」との写しをもとに取材を続いたところ、取材に応じた人の大半は労務に伴う報酬を受け取ったと認明。一方、14日まことに、区内の同一自治体に住む6人が労務や報酬の受け取りを否定する証言をし、回答が大半だった。この男性の証言に、ただの接種点を聞いた。身も心もよくない頃だから



支払先として県選管委員会に報酬」した人のうち、「少なくとも6人が「労務はしておらず、報酬も受け取っていない」と朝日新聞の取材に証言した。

「我保證不會再干那事了。」

領収書に名前、身に覚えない

林芳正総務相の職務が
山口県選舉管理委員会
に付した領収書の写
しのひどう（画の一）
部を加へてござります

にすら行かなかつたんだ
から、選挙の手伝いなん
てするわけないじゃない
か」。林総務相の陣営が
6日発売の週刊文春に
「林氏陣営に運動員買収の
らの労務費受け取りを否
疑いがあると報道。林氏
性は、朝日新聞の取材に
そび語った。

民は「朝日新聞はこの報道を書いたが、それはない」と否定したが、から新聞をいつのよきつかけに取材を始めた。選挙期間中にどういつ費名目の支払いを受けたか。労務記載された人たちを取材するなかで、この男性

の支出について「選挙運動費用の収支報告書」に氏名や支払日、金額、目的を記し、領取書をもとに、または50万円以下の罰勅金を支拂う。

山口3区からの出馬した示したところ、6人は記林氏の陣営は選挙運動費された文字について「自用取支報告書で約270 分の字とは違う」と話した。人に務務費額約316万た。

新聞 朝刊

2025年11月15日付朝日新聞朝刊

の出納責任者(69)に対する公職選挙法違反(買収など)、有印私文書偽造・同行使両容疑の告発状を広島地検に送付した。

務費を払ったと選挙運動費用収支報告書に虚偽記入した、などとしている。

林氏の事務所は「告発に係る事実関係を把握していく

林陣営労務費
告発状を送付

公選法違反容疑など

昨年10月の衆院選を巡り
林芳正総務相（山口3区）
陣営が支払ったとする労務
費について、神戸学院大の
上脇博之教授が1日、陣営

いて、ポスターの維持管理の労務を行つておらず、報酬の授受もないにもかかわらず、領収書に署名し、労

約270人に労務費として
計約316万円を支出。支
払先として領収書に記載さ
れた同市の7人が取材に
「領収書に身に覚えがない。
報酬も受け取っていない」
と証言している。

2025年12月2日付 読売新聞 朝刊

(パネル) 出典：2025年11月15日付 朝日新聞 朝刊、2025年12月2日付 読売新聞 朝刊